



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成28年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 ぴあ
 コード番号 4337 URL <http://corporate.pia.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート統括
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月9日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(氏名) 矢内 廣
 (氏名) 吉澤 保幸

TEL 03-5774-5278

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	77,641	4.1	1,075	27.8	1,087	33.6	734	7.9
28年3月期第2四半期	74,587	11.0	842	3.7	814	△1.4	680	△12.1

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 733百万円 (6.1%) 28年3月期第2四半期 690百万円 (△12.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
29年3月期第2四半期	51.09	—
28年3月期第2四半期	48.38	48.03

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
29年3月期第2四半期	36,517	8,051	21.9	555.25
28年3月期	35,948	7,640	21.1	527.12

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 7,986百万円 28年3月期 7,581百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
28年3月期	—	0.00	—	16.00	16.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	16.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	140,000	1.0	1,500	△1.8	1,400	△4.9	1,200	△0.8	83.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期2Q	14,547,213 株	28年3月期	14,536,113 株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	203,917 株	28年3月期	152,337 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期2Q	14,376,084 株	28年3月期2Q	14,068,569 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善を背景に緩やかな回復基調が続いたものの、個人の消費マインドに足踏みが続き、英国のEU離脱問題に起因する世界経済への悪影響が懸念されるなど、先行きについては不透明な状況で推移しましたが、国内レジャー・エンタテインメント市場におきましては、近年の増加トレンドを維持し、好調に推移しました。

このような状況下、中期経営計画の2年目にあたる当第2四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、引き続きインターネットでのチケット販売が好調に推移し、第2四半期連結累計期間としては過去最高の売上高・営業利益・経常利益を達成しております。特にチケット販売サービスでは、スポーツジャンル（プロ野球・Jリーグ・B.LEAGUE他）や地方エリアでの販売が前期を上回るかたちで好調に推移しました。

以上の結果、当社グループの第2四半期の業績は、連結売上高776億41百万円（対前年同期比104.1%）、営業利益10億75百万円（同127.8%）、経常利益10億87百万円（同133.6%）、親会社株主に帰属する四半期純利益7億34百万円（同107.9%）となりました。

売上に貢献した主なイベントや商品は次のとおりであります。

<イベント>

「ROCK IN JAPAN FES. 2016」

「シルク・ドゥ・ソレイユ ダイハツ トーテム」

「嵐のワクワク学校 2016」

「西野カナ」

「ONE OK ROCK」

「Animelo Summer Live 2016」

「SEKAI NO OWARI」

「福山雅治」

「Perfume」

「CNBLUE」

「劇団☆新感線」

「ディズニー・オン・アイス」

<商品>

「夏ぴあ」「秋ぴあ」（首都圏版/関西版/東海版）

「食本」シリーズ（戸塚東戸塚、明石垂水須磨、宇都宮、浜松、堺他）

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、365億76百万円となり、前連結会計年度末と比較して5億69百万円増加いたしました。流動資産は329億62百万円（前連結会計年度末比2億34百万円増）となりました。変動の主なものは、現金及び預金の増加（同11億47百万円）、受取手形及び売掛金の減少（同12億93百万円）であります。また、固定資産は35億55百万円（前連結会計年度末比3億35百万円増）となりました。

負債は、284億65百万円となり、前連結会計年度末と比較して1億57百万円増加いたしました。流動負債は278億48百万円（前連結会計年度末比1億96百万円増）となりました。変動の主なものは、未払金の増加（同3億29百万円）であります。固定負債は6億16百万円（前連結会計年度末比39百万円減）となりました。変動の主なものは、長期借入金の減少（同40百万円）であります。

純資産は、80億53百万円となり、前連結会計年度末と比較して4億12百万円増加いたしました。これは、主に配当金2億30百万円の支払による減少と親会社株主に帰属する四半期純利益7億35百万円の計上等により利益剰余金が5億5百万円増加したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比較して6億47百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末は157億57百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは21億19百万円の収入（前年同四半期は45億39百万円の収入）となりました。この主要因は、税金等調整前四半期純利益が10億87百万円であったこと、売上債権の減少が12億93百万円であったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは10億98百万円の支出（前年同四半期は20億95百万円の支出）となりました。この主要因は、定期預金の預入による支出5億円、有形固定資産の取得による支出3億19百万円及び無形固定資産の取得による支出2億73百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは3億73百万円の支出（前年同四半期は4億52百万円の支出）となりました。この主要因は、配当金の支払による支出2億29百万円、自己株式取得による支出1億10百万円及び長期借入金の返済による支出40百万円によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の業績予想につきましては、前回公表の予想数値に変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、一部の連結子会社を除き、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

（4）追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,110	16,257
受取手形及び売掛金	15,653	14,360
商品及び製品	169	103
仕掛品	1	3
原材料及び貯蔵品	4	6
その他	1,836	2,264
貸倒引当金	△48	△33
流動資産合計	32,728	32,962
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	77	83
工具、器具及び備品(純額)	275	520
土地	6	6
その他(純額)	53	20
有形固定資産合計	412	631
無形固定資産		
ソフトウェア	1,223	1,082
ソフトウェア仮勘定	22	322
その他	59	59
無形固定資産合計	1,304	1,464
投資その他の資産		
投資有価証券	905	868
その他	899	895
貸倒引当金	△301	△304
投資その他の資産合計	1,503	1,459
固定資産合計	3,220	3,554
資産合計	35,948	36,517

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	23,667	23,732
短期借入金	100	100
1年内返済予定の長期借入金	80	80
未払金	923	1,253
未払法人税等	208	425
賞与引当金	272	11
返品調整引当金	431	296
その他	1,969	1,949
流動負債合計	27,651	27,848
固定負債		
長期借入金	40	—
退職給付に係る負債	117	121
資産除去債務	62	63
その他	435	431
固定負債合計	656	616
負債合計	28,307	28,465
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,612	4,621
資本剰余金	775	785
利益剰余金	2,617	3,122
自己株式	△361	△471
株主資本合計	7,644	8,057
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19	23
為替換算調整勘定	△23	△43
退職給付に係る調整累計額	△58	△50
その他の包括利益累計額合計	△62	△70
新株予約権	0	—
非支配株主持分	58	65
純資産合計	7,640	8,051
負債純資産合計	35,948	36,517

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
売上高	74,587	77,641
売上原価	68,779	71,434
売上総利益	5,808	6,206
返品調整引当金戻入額	346	431
返品調整引当金繰入額	312	296
差引売上総利益	5,842	6,341
販売費及び一般管理費	5,000	5,265
営業利益	842	1,075
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	6	6
諸債務整理益	0	21
受取保険金	—	7
その他	3	1
営業外収益合計	10	36
営業外費用		
支払利息	4	3
持分法による投資損失	31	21
その他	2	0
営業外費用合計	38	25
経常利益	814	1,087
特別利益		
投資有価証券売却益	7	—
特別利益合計	7	—
特別損失		
減損損失	7	—
特別損失合計	7	—
税金等調整前四半期純利益	814	1,087
法人税等	127	346
四半期純利益	686	741
非支配株主に帰属する四半期純利益	5	6
親会社株主に帰属する四半期純利益	680	734

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純利益	686	741
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5	3
為替換算調整勘定	0	△0
退職給付に係る調整額	6	8
持分法適用会社に対する持分相当額	2	△20
その他の包括利益合計	4	△8
四半期包括利益	690	733
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	684	726
非支配株主に係る四半期包括利益	5	6

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	814	1,087
減価償却費	249	297
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1	△11
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△259	△261
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	△34	△135
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	12	11
受取利息及び受取配当金	△7	△7
支払利息	4	3
持分法による投資損益 (△は益)	31	21
投資有価証券売却損益 (△は益)	△7	—
減損損失	7	—
売上債権の増減額 (△は増加)	1,213	1,293
たな卸資産の増減額 (△は増加)	23	62
前渡金の増減額 (△は増加)	122	△223
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,905	65
未払金の増減額 (△は減少)	238	258
前受金の増減額 (△は減少)	150	△18
その他	181	△182
小計	4,644	2,260
利息及び配当金の受取額	8	8
利息の支払額	△4	△3
役員退職慰労金の支払額	△2	—
法人税等の支払額	△106	△146
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,539	2,119
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△500	△500
有価証券の純増減額 (△は増加)	△1,000	—
関係会社株式の取得による支出	△100	—
有形固定資産の取得による支出	△46	△319
無形固定資産の取得による支出	△444	△273
投資有価証券の売却による収入	7	—
長期前払費用の取得による支出	△8	△5
その他	△2	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,095	△1,098
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△122	△40
新株予約権の行使による株式の発行による収入	191	18
配当金の支払額	△210	△229
非支配株主への配当金の支払額	—	△0
自己株式の取得による支出	△299	△110
その他	△11	△12
財務活動によるキャッシュ・フロー	△452	△373
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,991	647
現金及び現金同等物の期首残高	13,120	15,110
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,112	15,757

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)
当社グループは単一の報告セグメントであるため、記載を省略しております。

- II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)
当社グループは単一の報告セグメントであるため、記載を省略しております。